



猫と快適に暮らすためには、猫の特性を理解することが重要です。
まずは、猫の能力や習性等を紹介します。

1 能力

(1) 視覚

- ・ 視力はあまりよくありませんが、動体視力が高く、視野が広いといわれています。
- ・ 距離感を正確に判断することができます。
- ・ 色の識別能力は高くありませんが、暗いところではわずかな光で物を捉えることができます。

(2) 聴覚

- ・ 聴力は犬より優れており、人が聞こえない高音を聞き取ることができます。

(3) 嗅覚

- ・ 犬より劣りますが、匂いを嗅ぎ分ける能力に優れています。
- ・ いろいろなものを嗅覚で判断しています。

(4) 触覚

- ・ 口の周り、頬、目の上などにヒゲが生えています。ヒゲの根元には神経が集中しており、障害物などを感知するために利用しています。

2 習性

(1) 活動（夜行性）

- ・ 飼い猫は、飼い主の生活に合わせて活動することもあるようですが、基本的には夜間に活動が活発化し、昼間は休息しています。

(2) 行動

- ・ 単独行動が基本です。
- ・ 高いところや狭いところを好んで動き、不安な場所では隠れることが一般的です。こうした習性を理解し、上下運動で高低差のあるところ、隠れられるところ、眠れるところなど、猫が安心する環境を整えることで屋内飼養が十分可能です。



(3) 行動範囲

- ・ 犬に比べて狭く、餌場を中心にその周辺程度といわれています。
- ・ 縄張りが存在し、オス猫はメス猫に比べて範囲が広く、縄張り意識も強いようです。
- ・ 去勢するとオス猫の行動範囲が約2分の1（63mから34m）に縮小したとの調査結果もあるようです。

(4) 食 事

- ・ 猫は肉食の動物です。人や犬とは必要とする栄養素が異なり、自分の体で作ることのできるビタミンの種類なども異なります。人と同じ食べ物ではなく、市販されているキャットフードなどを中心に、猫に必要な栄養が含まれている餌を与えるのがよいでしょう。

(5) 発 情

- ・ メス猫は、生後6ヶ月程度で繁殖能力を備え、発情が始まります。発情は晩冬から初夏を中心に年3～4回、1回あたり約1週間続きます。妊娠するまでは発情を繰り返し、かん高い声で鳴いてオス猫を求めて歩き回ります。伏せたまま腰を少し上げて足踏みをしたり、床を転げ回ったりなどの行動をします。不妊手術により発情しなくなります。
- ・ オス猫は、生後6ヶ月程度で生殖能力を備え、メス猫の発情に誘われて発情します。発情すると壁などに尿をかけるマーキング行動（尿スプレー）を行うようになります。この行動を減らすには去勢手術が有効で、90%近いオス猫に効果があるといわれています。

(6) 妊 娠

- ・ メス猫は交尾によって排卵が起こるので、高い確率で妊娠します。妊娠期間は約2ヶ月で、1回に3～8頭の子猫を産みます。出産後1ヶ月程度で次の発情が起こり、子猫を育てている間に妊娠して出産する場合があります。そのため、発情のタイミングによっては、年3回以上出産することもあります。

(7) トイレ

- ・ 乾いた場所で行う習性があり、柔らかい土や砂の上を好む傾向があります。
- ・ 餌場の周辺で、決まった場所に排泄をする習性があるので、特定の場所に排泄をするようにしつけをすることができます。



(8) マーキング行動

ア 爪とぎ

- ・ 身を守るため爪を鋭くするほか、爪で傷をつける視覚的マーキングと、足の裏から分泌する匂いを付ける臭覚的マーキングを同時に行っています。

イ 尿スプレー

- ・ 自分の縄張りを示すためや、不安を感じたときに起こす行動です。去勢手術をすると尿スプレーが抑えられ、臭いも薄くなるようです。去勢手術により90%近くが尿スプレーをやめるといわれています。

ウ 擦り付け

- ・ 顔を擦り付けることで、分泌する匂いをつけるマーキングの一種です。
- ・ 飼い主への愛情表現のために行うこともあるようです。

(9) グルーミング

- ・ 自分の匂いをかき消すために、体をなめたり、前肢で顔を洗ったりするような動作をします。

3 寿命

- ・ 飼い猫の平均寿命は10年前後と推測されています。
- ・ 近年の獣医療の進歩やバランスの取れた食事などにより、寿命はさらに延びる傾向にあり、20年以上生きるものもいます。
- ・ 飼い主のいない猫は外で生活するため、事故や病気により飼い猫と比べて寿命が短く、3～5年程度といわれています。